

○ ワークショップ「マーケティング論・産業組織論」

開催責任者 ビジネス研究科 湯本祐司  
経営学部 南川和充  
2009年1月10、11日  
南山大学名古屋キャンパス J棟415室

ワークショップは「マーケティング論・産業組織論」というテーマのもと、参加者約20名で、以下のプログラムで開催された。

◇報告者および題目

1月10日(日) 13:00-18:00

座長：倉澤資成(横浜国立大学大学院国際社会科学研究所)

報告者：中野沙弥香(兵庫県立大学大学院経済学研究科)

論題：食品の安全性基準の決定と戦略的貿易政策

討論者：大北健一(山口大学大学院技術経営研究科)

報告者：中山雄司(大阪府立大学経済学部)

論題：入札会データを用いた中古車落札価格の推定

討論者：丸山雅祥(神戸大学大学院経営学研究科)

報告者：鄭潤澈(慶應義塾大学商学部)

論題：The Principle of Minimum Differentiation Holds under Customer Poaching with Switching Costs

討論者：楠田康之(日本福祉大学経済学部)

報告者：松井建二(神戸大学大学院経営学研究科)

論題：Auditing Internal Transfer Prices in Multinationals under Monopolistic Competition: an Alternative to the Arm's-Length Standard

討論者：王海燕(京都大学大学院経済学研究科)

1月11日(月) 9:30-12:30

座長：成生達彦(京都大学大学院経営管理研究部)

報告者：山下悠(神戸大学大学院経営学研究科)

論題：Franchise Fees and Royalties: Theory and Empirical Results

討論者：中田善啓(甲南大学経営学部)

報告者：鳥居昭夫（横浜国立大学経営学部）

論題：縦割り組織の効能

討論者：石垣智徳（大阪府立大学経済学部）

報告者：David Flath（大阪大学社会経済研究所）

論題：Are There Any Cournot Industries？

討論者：笹井 均

#### ◇ワークショップの討論内容

##### 1. 企業間競争や組織間関係に関する理論分析

スイッチングコストを伴う市場における企業間の価格・立地選択の競争分析、自国財と輸入財との品質・価格競争と経済厚生に及ぼす戦略的貿易政策の効果に関する研究、多国籍企業の内部移転価格監査に対する税務当局による最適な基準価格設定方法に関する分析、依頼人と代理人両者の利益を考慮する場合の誘因契約と単純契約とのパフォーマンス比較に関する分析、について理論研究の報告があった。

##### 2. 市場や契約に関する実証分析

産業レベルの価格コストマージンと産業集中度との関係に関する仮説の実証分析、オークションにおける入札価格をその財の属性から推定するモデルの考案によるデータ分析、フランチャイズ契約におけるフランチャイズ料かロイヤリティかの選択という意思決定を規定する要因の実証分析、について報告があった。

#### ◇研究成果発表

報告者が各自、学術誌などに論文投稿や学会報告を計画している。